

次の年一九六五年（昭和四〇）  
日本医学協会が新設され  
その会長と  
なりました

そこでは

『医学の昂揚<sup>きやうきやう</sup>  
医学教育の充実<sup>じゆうじゆう</sup>  
医療制度の改善<sup>かいかん</sup>をめざし  
医学・医療の健全な進歩に  
貢献<sup>こうけん</sup>する』

との  
永遠の理想<sup>えいゑん</sup>を掲げ<sup>かか</sup>  
ることになりました

理想や  
正しい目標がないと  
人や組織は  
ともすると  
墮落<sup>だらく</sup>して行きます

吉田富三  
博士は  
物事の本質を  
見ぬき

そこから  
人間のあるべき姿を  
視<sup>み</sup>つめ  
正しい道を明確に  
示す人でありました